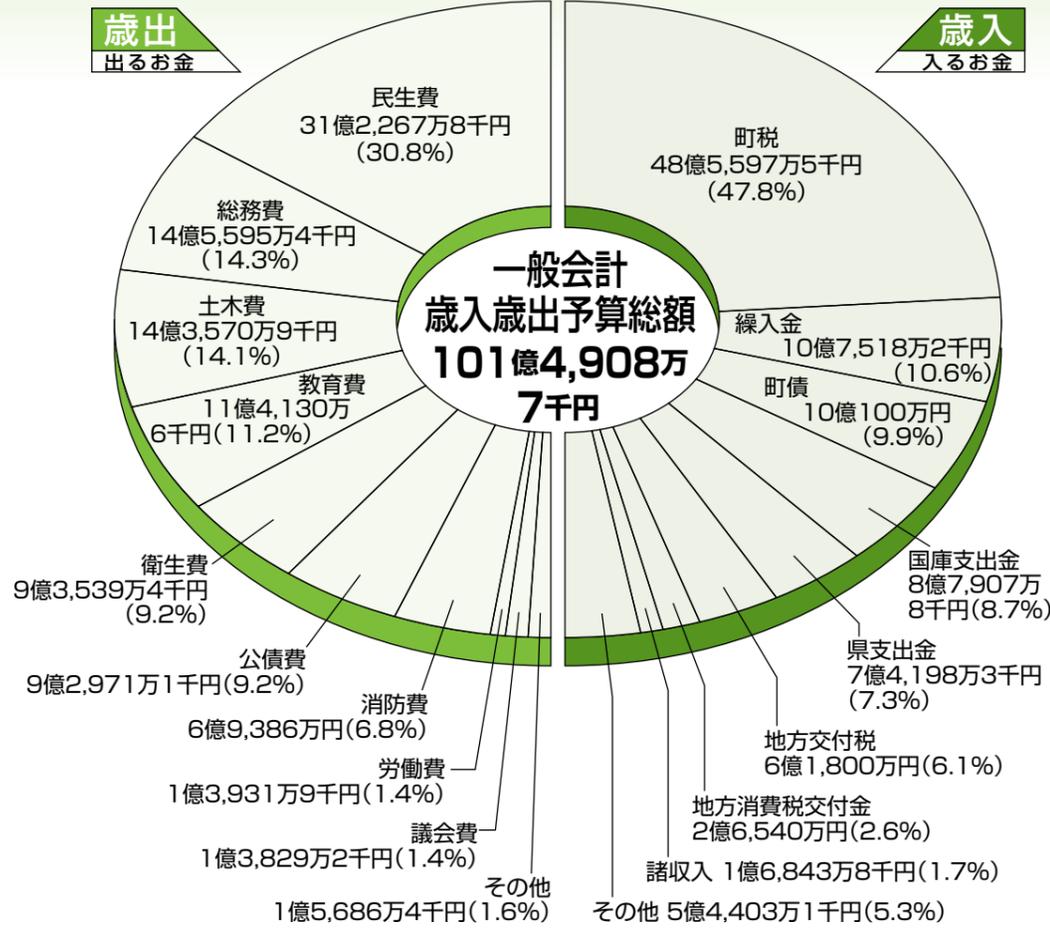


住民1人に使われる町の金



平成22年度の予算が、3月の定例町議会でも決まりました。今年度は、どれだけの収入があり、どのような事業にお金を使うのでしょうか。今日は、1年間の収入と支出の見積りである予算についてお話しします。

平成22年度予算が決まりました 予算総額は、187億441万7千円

景気低迷などの影響で町税は大きく減少し、厳しい台所事情

一般会計の歳入においては、町税が最も多く、48億5597万5千円で、全体の47.8%を占め、昨年度と比較して約3億5167万円の大幅な減収見込みとなりました。その内訳は長引く景気低迷の影響により法人町民税で約2億8500万円の減、個人町民税で約1億2500万円の減となる見込みです。

次に多いのが財源不足を補うための財政調整基金などの繰入金（貯金の取崩し）で、全体の10.6%を占め、10億7518万2千円となり、昨年度と比較して2億9080万5千円、37.1%の増額となりました。その次に町債（借金）は10億100万円で前年比65.8%の増、そして国庫支出金が8億7907万8千円、前年比80.0%の増となりました。

そのほか、普通交付税においては昨年度に引き続き増加となる見込みで、本年度においては、5億3800万円の歳入見込みとなり、地方交付税全体では6億1800万円、50.4%の増となる見込みです。

一般会計の歳出で最も多いのは、

子どものいのちを育て「子育て支援」の推進

限られた財源の中で「安全・安心」と「教育の充実」を目指して

2番目は、総務費で14億5595万4千円、全体の14.3%を占めています。これは、町の全般的な管理事務経費で、税の賦課徴収などの費用や電算システム経費などがあり、今年度は老朽化に伴う庁舎の空調設備更新などの工事を行います。

3番目の土木費は、14億3570万9千円で14.1%を占めています。これは、町道浜幹線道路新設事業や大中踏切拡幅事業などの道路新設改良費や古宮地区水路整備などの排水溝の整備費のほか都市公園の維持管理経費や昨年度に続き健康遊具を設置する経費などがあります。

教育費は、11億4130万6千円、

概要

一般会計と特別会計などを合わせた予算総額は、187億441万7千円で、昨年度と比べて9億1092万7千円、5.1%の増となっています。

会計別では、一般会計が101億4908万7千円で前年度に比べて4908万7千円、4.9%の増となっています。また、国民健康保険事業など6つの特別会計の予算総額は、77億2578万6千円で前年度比0.4%の減となりました。

また、企業会計である水道事業は、前年度比20.3%減の8億6954万4千円です。

用語解説

<歳入>
 町税…所得にかかる町民税や土地・建物にかかる固定資産税など
 繰入金…各種基金（貯金）を取崩し一般会計へ入れたお金
 町債…事業を行うために借り入れたお金
 国庫支出金、県支出金…事業を行うための国や県からの負担金や補助金
 地方交付税…町の財政需要に応じて国から交付されるお金

<歳出>
 民生費…高齢者や障がい者、児童のための福祉など
 総務費…財産管理や企画・税務事務など
 土木費…道路や公園の整備など
 教育費…学校教育や公民館の整備など
 衛生費…ごみ・し尿処理や予防接種など
 公債費…町債などの借入金の返済
 消防費…消火・水防活動など
 労働費…労働者への福利厚生など
 議会費…議会の運営など
 農林水産業費…農業・水産業の振興など
 商工費…産業の振興や観光など

区 分	予 算 額	対前年度増減率
一 般 会 計	101億4,908万7千円	13.0%
特 別 会 計	77億2,578万6千円	△ 0.4%
(国民健康保険事業)	35億3,113万4千円	3.3%
(財 産 区)	13億 7万4千円	7.1%
(老人保健医療事業)	655万9千円	△85.2%
(下 水 道 事 業)	10億 201万9千円	△27.1%
(介護保険事業)	15億8,796万3千円	8.7%
(後期高齢者医療事業)	2億9,803万7千円	20.6%
企業会計（水道事業会計）	8億6,954万4千円	△20.3%
合 計	187億4,441万7千円	5.1%

全体の11.2%を占め4番目となっています。これは、教科専門指導教諭の配置にかかる経費や小学校での英語活動の推進のための経費のほか、幼稚園や小・中学校施設の維持管理経費などがあります。また、本年度から中学校給食の実施に当たり、配膳室や給食用リフトなどの整備、食器などの備品の購入、給食実施に伴う運営経費などが新たに含まれています。そのほかにも社会教育施設、スポーツ施設などの維持管理経費や本年度においては、老朽化に伴う郷土資料館の空調設備更新などの施設整備費もここに含まれています。

公債費は、9億2971万1千円で全体の9.2%と6番目となっています。これは施設の建設や道路の整備などのために、これまで借り入れてきたお金（町債）の返済にあてられているものです。平成22年度末の一般会計の町債残高見込みは約90億4600万円で、下水道事業等特別会計を合わせた全体では、約179億8600万円となる見込みです。

また、国の経済対策などの補助金を活用して平成21年度末に予算化している町内すべての幼稚園と小・中学校に太陽光発電システムを整備する事業や播磨西幼稚園の耐震化に伴う改築事業なども平成22年度の繰越事業として実施します。